

## 一般社団法人 会津坂下青年会議所

### 2020年度 理事長所信

第42代理事長 齋藤 公一

#### はじめに

1978年、会津坂下青年会議所は明るく豊かなふるさとを築くため設立され42年が経過しました。諸先輩方の想いと情熱は、昭和から平成、そして令和の時代へと受け継がれました。

めまぐるしく変化し、多様化する現代において、これから会津坂下青年会議所はどう在るべきか、求められるものはなにか、そして我々が求めるべきものはなにか、メンバー全員が一丸となり追求していかなければなりません。

#### 魅力ある組織づくり

私達は明るく豊かな社会を築くため「定款」を基に運営規定を定め、地域の為、そして自らの学びを得る為活動しております。

しかし活動・運動を展開していく中で不都合を感じるのであれば、それらを否定的には捉えず、組織を見直す機会として捉え、メンバーが団結して魅力ある組織にしなければなりません。解決すべき課題を全員で模索し、共有し、話し合い、変えていかなければならないものは、恐れずに変えていかなければより良い未来へは進めません。それには役職や経歴ではなく自由に意見でき、決して後ろ向きに、悲観的にならず、ポジティブに前へ推し進めることができる、魅力ある持続継続可能な組織づくりを目指します。

#### 青少年の未来のために

会津坂下青年会議所の継続事業である「わんぱく相撲坂下場所」は、昨年度第27回を迎えました。礼節を重んじる青少年の育成事業として、多くのわんぱく力士達と相撲を通じて関わりを持ってました。そして真剣に勝負し、喜びと悔しさを知るその姿は私達に多くの気づきを与えてくれます。

わんぱく相撲をはじめとする青少年育成事業では、子供達にとってより良い経験になり、多くを体験して成長の一つにしてほしいと願い、子供たちの笑顔が溢れる事業の実施を目指します。また、未来を担う青少年のために、地域に参画し共により良い地域を築きあげるための事業を展開して参ります。

#### 地域との繋がりを強く

私達が活動・運動するにあたり他団体、地域の協力なくしてはできません。内にこもってしまい、私達が行う事業がひとりよがりになってしまわないか疑念を持ち、地域に対して何が足りないのか、魅力ある地域を創るための追及を共にしなければいけません。さらなる他団体、地域との連携をし、地域に対しての事業展開を目指します。

## 人財の育成

青年会議所は自己成長のために様々なコンテンツを利用できる団体です。そして挑戦する機会に恵まれている団体でもあります。自己を成長させ、自身の仕事や家庭、地域に貢献し、そして何事も貪欲に求め、常に挑戦する人財になってほしいと願います。

自身が笑顔でいるためには確固たる自信を身に着け、笑顔を与えられる人物への育成に努めます。地域の将来を担う青年として能動的に動き、リーダーとして活躍できる人財育成を目指します。

## 共に歩む仲間を集う

地域に住まう一人でも多くの青年に、成長してほしい。青年会議所でしか経験できない多くの機会を体験してほしい。そして個人が様々な学びを得て成長し、地域と自身の仕事や家庭に活かしてほしい。

私達会津坂下青年会議所は少数ではありますが、精鋭ではありません。そのために多くの仲間を集い共に成長する必要があります。刺激し合い、共に笑い合える仲間を集うために、組織の魅力向上に努めます。

そして積極的に情報発信をして参ります。現在インターネット、SNS等、情報を得る機会は数多く存在します。少しでも多くの人に青年会議所の魅力を知ってもらうため、共に活動できる仲間を集うため情報発信運動を展開して参ります。

## 最後に

会津坂下青年会議所はこれからどうあるべきか。

私達は地域発展のため、また自己成長のため、JC三信条である「修練・奉仕・友情」を胸に活動・運動を行っております。

しかしながら会員数の減少に伴い個々の担い増え、本来自己を成長させるための「修練」の場が「負担」となってしまっているのではないかと。また会員の減少を招く原因が何かあるのではないかと。JCの修練の場は自己を成長させる機会の場です。地域を担う青年として成長し、地域に奉仕し、多くの仲間と助け合い共に友情を築き、明るい豊かな社会を築くための運動を展開していくことが私たちの使命であります。

否定的、悲観的な行動では、何も生み出せません。自身が笑顔であるため、地域を笑顔にするため、決して後ろ向きにはならず、積極的に前へ進まなければなりません。

メンバーが一丸となり地域と共に団結して笑顔を創り出せるよう邁進して参ります。